

ひまわりクリニックきょうこく

ひまわり便り 第39号

地域医療を学ぶため 鹿児島大学から研修医が来ています



研修医とは、医師免許を取得したあと、指定を受けた病院や診療所等で定められた期間、様々な診療科を回り、経験を積んでいる医師のことをいいます。

ひまわりクリニックは、地域医療研修施設として、毎年研修医を受け入れています。

現在も、8月1日から31日までの一か月、鹿児島大学の研修医が来ています。クリニックでの研修を振り返っての感想をお聞きしましたのでご紹介します。



～鹿児島大学病院 竹内 直矢（たけうち なおや）先生～

① なぜ、ひまわりクリニックでの研修を選択されたのですか？

鹿児島大学と北海道大学の交流事業として、道内2か所の研修予定となっています。その中で、北海道の地域医療を知るために、1か所は地域の中核病院、もう1か所はプライマリケアを学びたいと考えました。ひまわりクリニックはプライマリケアに力を入れているとお聞きしていたので、ぜひ勉強させていただきたいと思い選択しました。

② 約一か月間、京極町で過ごしてみても感想を聞かせてください。

鹿児島と比べると昼は涼しく、朝・夕は少し寒かったです。

水が豊富でよい所だと思いました。近隣で作られているお酒もおいしかったです。

スタッフの方をはじめとして、多くの方から優しくしていただいたので、快適に過ごすことができました。

③ 研修中に、診察を通して印象的だった出来事を聞かせてください。

多職種で連携して、今後患者様やその家族がどうやったらうまくやっていけるのか考えていく所が勉強になりました。

外来では、慢性的な症状を抱えている方も多く、中々根本的な解決は難しいですが、話をしたら楽になったと言って下さったり、内服調整することで前回より少しお元気になっているところを見ることができたときは嬉しかったです。

④ これからの先生の目標は？

医師としては、研修医も終盤が近づいているので、進路をはっきりとさせて勉強を深めていきたいと考えています。

個人的には、北海道にきて体重が増加傾向なので、体型キープをがんばります。

患者様をはじめ、地域や関係機関の皆様から教えていただくことは、研修医にとって貴重な経験です。将来の医療を支えていく今の若い医師を「育てる」ということを、今後も、地域の皆様のご協力とご理解のもと取り組んでいきたいと考えています。

